

## 目的・動機

- 自転車のカギ
  - ・ 閉め忘れて、盗難にあう
  - ・ 落としてしまって、開けられない



自転車のカギ制度の廃止

### □ 目的

自転車のロック機能の自動化

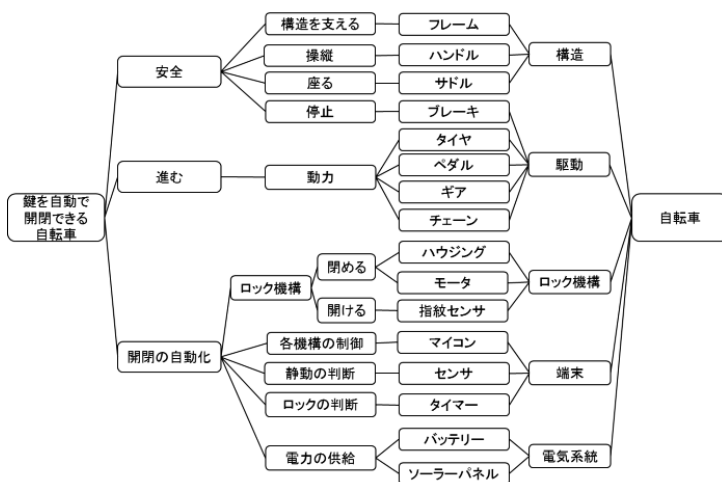


<https://kagicon.com/bicycle-keylost>

## 導入機能

- ・ センサが停止を確認した6分後、自動でロック
- ・ ロック機能に必要な電力は太陽光発電により賅う
- ・ 備え付けの端末は、スピードや走行距離などのモニタとしても利用可能

## 思考展開図



## イラスト



- ① 端末 → 指紋を読み取りロックを解除
- ② センサ → タイヤの回転数から停止中なのかを判断
- ③ ロック機構 → センサからの情報を読み取りカギを開閉
- ④ 太陽光発電パネル → 必要な電力を発電
- ⑤ 赤外線読み取り装置 → スマホの赤外線機能で開錠

## 結論

- ・ これからのセンサ技術の発展により、さらに小さくまた、微小電力での動作が可能となれば、このような自転車ができると思う。
- ・ 現状、車のカギや、家のカギもなくなっているので自転車のカギもなくなる時代はそう遠くないと思う。